

タイトル	チクチク言葉～マイクロアグレッション～		
ワークの目的	<ul style="list-style-type: none"><li>● 思い込みが言動に現れた時の影響を知り、安心・安全なコミュニケーションを目指すための対処法を考える。多様な立場の人が感じる気持ちを体感する。</li></ul>		
背景	<ul style="list-style-type: none"><li>● マイクロアグレッションは特定の集団に対する先入観や思い込みが何気ない言動に現れることで、相手を傷つけることを指します。</li><li>● マイクロアグレッションの発信者は悪気がなく、自分の発言の裏に思い込みや偏見が隠されていることに気づかないことが大半ですが、それでも受け手は心に深い傷を負ってしまうことがあります。</li><li>● 相手を傷つけることを減らすために、私たち一人一人が無意識の思い込みを自覚し、自分の行動を謙虚に分析する習慣や、相手の気持ちに寄り添う姿勢を身に着けることが重要です。</li><li>● そのため、このワークではマイクロアグレッションを言ってしまった人、言われた人、言われているところに遭遇した人の3つの立場をそれぞれ体験することで、マイクロアグレッションは誰もがが行うこと、言われるととても傷つくことに気付き、反省し、行動を少しずつ変えていくことを目指します。</li></ul>		
対象学年	小学校中学年・高学年	所要時間	40～60 分
準 備	チクチク言葉資料、筆記用具、ポストイット		
実施内容		支援の観点・留意点	
① 導入			
マイクロアグレッションの説明		留意点	
<ul style="list-style-type: none"><li>● チクチク言葉資料のP3-7を見せる</li><li>● いくつか発言を選び、子供たちに問いかけを行う<ul style="list-style-type: none"><li>－ 「これを聞いた人はどんな気持ちになると思う？」</li><li>－ 「みんなだったら、こういう言葉を聞いて傷ついている人がいたら、どう声をかけるかな。」など</li></ul></li><li>● 発言の裏に隠された思い込みを子供たちに考えてもらう<ul style="list-style-type: none"><li>－ 意見が出てこない場合、ファシリテーターから伝える「これを言った人は、どうしてこんな発言をしたと思う？」 「女の子は髪が長くて、男の子は髪が短い」、「こどもは外で遊んで、おばあちゃんはパソコンやスマホに弱い」みたいな先入観がありそうだよね」</li></ul></li></ul>		<ul style="list-style-type: none"><li>● マイクロアグレッションを定義する上で、専門的な言葉を使う必要はありません。「チクチク言葉」などの分かりやすい表現を用いることをおすすめします。</li><li>● この段階では、児童自身の立場で意見を言ってもらいます</li></ul>	

<b>② ワーク 1</b>	
資料P8-11からロールプレイするテーマを選ぶ	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 3つの役割（チクチク言葉を使う人、言われる人、その場面に遭遇する人）の内どれを行ってもらうか、児童ごとに設定します</li> </ul>	
児童に役割を振り、ロールプレイの行い方を説明する	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「それでは、これからみんなにはロールプレイをしてもらいます」</li> <li>● 「今回のロールプレイのテーマはこれ！みんなにも最初の立場を割り振るので、渡したワークシート(P16～19)にチェックをいれてね」</li> <li>● 「どんなチクチク言葉の場面なのか見てみて、それぞれの立場でどんな感じ方をするのか、どうすればチクチク言葉を言わなかったり、言われた側を元気づけられるのか考えてみましょう」</li> </ul> <p style="text-align: center;">～以下ロールプレイAの例を使って説明～</p>	
自分が“えいみさん”の立場だとしたら、何を言うか考えてもらう	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● “えいみさん”の立場で何が出来るか問いかける             <ul style="list-style-type: none"> <li>－ 「どうやったら、“さとしさん”の気持ちが楽になると思う？ 思いついた人から手を挙げてみよう！」</li> </ul> </li> <li>● 出た意見を受けて、“さとしさん”と“ちかさん”役の人は、即興で受け答えをする             <ul style="list-style-type: none"> <li>－ 「こういう意見を言われたよ。“さとしさん”／“ちかさん”ならどう思ったり、反応するかな」</li> </ul> </li> <li>● 出てきた反応に対し、“えいみさん”の立場の人に問いかけ             <ul style="list-style-type: none"> <li>－ 「思ってた反応だった？」</li> </ul> </li> <li>● みんなに問いかけ             <ul style="list-style-type: none"> <li>－ 「さとしさんの気持ちはどう変わったと思う？」</li> <li>－ 「どういう意見を言うと上手く“ちかさん”はチクチク言葉に気付いたり、“さとくん”が傷付かなくなるかな？」</li> </ul> </li> </ul>	
<b>③ ワーク 2（発展編） ※こちらのワークは②ワーク 1 の後に児童主体で行う発展編です 児童のタイプを鑑みて、実施できそうな場合、行ってください</b>	
参加者を1グループ3～4人に分ける	
ロールプレイの実施内容を伝え、実際に行ってもらう	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「さっきはみんなで行ったけど、今度はグループでもやってみよう」</li> </ul>	

<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「①チクチク言葉言った役の次は②言われた人、②言われた人の次は③遭遇した人、③遭遇した人の次は①言った人、というように役割を変えていってね」</li> <li>● 「まずは③遭遇した人が意見を言ってみよう。①言った人は、意見を聞いた上で、②言われた人になんて言うか考えてみよう。②言われた人は意見についてどう感じるか考えよう」</li> <li>● 「考えたことをみんなで伝え合った上で、役割を変えてみよう！そのうえで、どうするとチクチク言葉が減らせたり、言われた人をサポートできるか考えてみて」</li> </ul>	<p><b>留意点</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 演技の上手い・下手は関係ないこと、他の人がロールプレイをしている時に茶化したり笑わないことを守るよう、声掛けをしてください。</li> </ul>
<p><b>④ 発表</b></p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 各グループが、どのような対応を試したか、何が効果的だったかを発表してもらう</li> <li>● 対応例の発表を行う（資料P12-14参照）</li> </ul>	
<p><b>⑤ 振り返り</b></p>	
<p><u>問いかけをしつつ、振り返りを行う</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 「チクチク言葉を言われた人はどんな気持ちになる？」</li> <li>● 「言われた人、言ってしまった人、その場にいる人はどんな対応ができるかな？」</li> <li>● 「どんな気づきがあった？」</li> <li>● 「明日から気を付けたいことはなに？」</li> </ul>	

★参考動画：

1. 「【予告編】言葉があるから… ー無自覚の差別「マイクロアグレッション」ー」東映 <https://youtu.be/8d9qJcVqYWQ>
2. 「マイクロアグレッション ～言葉がナイフに変わる時～ アイデンティティ編」GSC's goals [https://youtu.be/qIWb2kf\\_zSY](https://youtu.be/qIWb2kf_zSY)
3. 「マイクロアグレッション ～言葉がナイフに変わる時～ 学歴と子ども編」GSC's goals <https://youtu.be/RsbPNzgr0vk>
4. 「マイクロアグレッション解説 ～マイクロアグレッションと虫刺され～」Fusion Comedy (Represent Rainbow 訳) <https://youtu.be/dXvkuU2h2IA>